

ソラシド エアの働き方改善の取り組みが 内閣府「カエルの星」に認定されました！

～ 航空会社として初めてワーク・ライフ・バランス推進企業に認定されました ～

ソラシド エア(スカイネットアジア航空株式会社 本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長 高橋洋)の整備本部整備管理部部品統制グループが、この度、内閣府より第 2 回『カエルの星』として航空会社では初めて認定され、去る 2 月 3 日(月)に岡田広副大臣から認定書を授与されました。

『カエルの星』は、内閣府(男女共同参画局)が仕事と生活の調和実現に向けワーク・ライフ・バランスの推進を図る目的から 2012 年に新設し、企業や団体に組織される部や課などのチーム単体で働き方を改善し長時間労働の縮減や年次有給休暇の取得促進などに務めた好事例を、内閣府が選定・認定し、その取り組みを広く紹介することでワーク・ライフ・バランスの推進に役立ていくという制度です。

当社では、『仕事も生活も充実させ、空から笑顔の種をまこう!』をキャッチフレーズに、2013 年より、ワーク・ライフ・バランスの意識浸透と心身の健康保持・増進、そして働き方の意識改革と職場のコミュニケーション強化を目的に、全社を挙げて総労働時間の削減に努め、ワーク・ライフ・バランスの充実を図っています。

この度認定を受けた整備本部整備管理部部品統制グループは、航空機部品のプロフェッショナルとして、航空機の安全・安心を日夜、確実な部品サポートで支える重要な役割を担っている組織です。

認定理由として、長時間労働の割合が高い運輸業において、公共交通機関としての安全性・定時性・快適性を向上させる側ら、決められた時間内で最大のパフォーマンスが求められる現状で、部内で積極的にコミュニケーションを図り、「Weekly Routine」という自発的な取り組みにより、チーム全員で遅滞業務を処理するなど業務の効率化に努め、残業時間の削減に繋がったことを高く評価いただきました。

ソラシドエアでは、今後もワーク・ライフ・バランス推進の一役を担う企業となれるよう全社を挙げて積極的に取り組み、「働き方」の更なる意識改革と職場改善に努めてまいります。

「カエルの星」認定概要

ひとつ「働き方」を変えてみよう!



【整備本部 整備管理部 部品統制グループについて】

〔人数〕 男性 8 名 女性 4 名 計 12 名

〔チームの業務内容〕

航空機の機材部品や修理完成部品の資材領収、ライン整備や海外重整備のサポート、部品の保管管理、入在庫管理、取卸し部品の修理発送等

【主な取組】

職場の課題について話し合い、「決められた時間内で最大のパフォーマンスを発揮」、「コミュニケーション強化による働きやすい職場づくり」に取り組むため、整備本部長の「残業時間削減宣言」を発し(2013年6月)、以下の取組を実施している。

- ① タラで、残業の必要性、作業工程の確認、優先順位づけなど業務を調整するとともに、上司と部下がコミュニケーションを図って意識を共有化。
- ② 残業が集中する時間帯に合わせて勤務シフト設定を変更。
- ③ 「課題解決シート」(※)の活用により会議の進め方を見直すとともに会議時間を短縮。
- ④ メンバーの自発的な話し合いにより、毎週金曜日の1時間をチーム全員で業務実施することとし、遅滞業務をシェアリング。(=「Weekly Routine」)

※ 課題の重要度、分類、内容、進捗、方向性、完了日、達成率等を記入。また、定例ミーティングやリーダー会報告で報告・共有。

【成果】

- ノー残業デー(週1回)では、概ね全員が定時退社できるようになった。
- 残業時間の削減 2013年4~11月の実績は前年比較56%を削減。
- 仕事の進め方を各自が主体的に考えるなどモチベーションが向上。
- 家族、友人と過ごす時間が増える等のプライベートが充実。



「カエルの星」に認定された部品統制グループ